

# 数学科 1年

## 教科の目標

- ① 正負の数の四則演算ができるようになる。またそれらを利用し、文字式の計算ができるようになる。
- ② 方程式の計算、文章問題ができるようになる。
- ③ 比例関係、反比例関係の事象はどのようなものかを理解し、式やグラフを書くことができるようになる。
- ④ 平面図形や空間図形について直観的な見方や考え方を深め、論理的に考察し表現する能力を培う。
- ⑤ 目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読み取る能力を培う。

## 学習計画

1学期 (週4時間)			2学期 (週4時間)			3学期 (週4時間)		
月	週	内容	月	週	内容	月	週	内容
4	1	オリエンテーション	9	18	1. 方程式とその解き方	1	35	2. 立体の見方と調べ方
	2	0章 整数の性質		19	中間考査(14~15日)		36	3. 立体の体積と表面積
	3	1章 正負の数		20	2. 1次方程式の利用		37	7章 データの分析と活用
	4	1. 正負の数		21		2	38	1. データの整理と分析
5	5	2. 加法と減法	10	22	4章 比例と反比例		39	2. データの活用
	6	3. 乗法と除法		23	1. 関数	40	3. ことからの起こりやすさ	
	7			24	2. 比例	41	学年末考査(26~28日)	
	8	4. 正負の数の利用		25	3. 反比例	3	42	1年生の復習
	9	2章 文字と式		26	4. 比例と反比例の利用		43	
6	10	1. 文字を使った式	11	27	5章 平面図形	44		
	11	期末考査(14~16日)		28	1. 図形の移動	45		
	12	2. 文字式の計算		29	期末考査(13~15日)			
7	13		12	30	2. 基本の作図			
	14	3. 文字式の利用		31				
	15	3章 方程式		32	3. おうぎ形			
				33	6章 空間図形			
		34	1. いろいろな立体					

## 評価について

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	観点の割合	33%	観点の割合	33%	観点の割合	33%
評価資料	小テスト 定期考査 提出物		小テスト 定期考査 提出物		小テスト 定期考査 提出物 授業観察	

## 学習の仕方と評価のポイント

- 復習がとても大切です。授業で学習したことは、必ずその日の内に復習して下さい。そして、次の授業につなげて下さい。
- 力を定着させるには繰り返し問題を解くことが大切です。力を伸ばすには、できなかった問題や間違えた問題の解き直しをするともに、難しい問題にもチャレンジすることが大切です。
- 提出物や問題集の点検では、正解し、理解しているかを見るだけでなく、間違えた問題は解き直し、理解に努めているかも見ます。